



かくせいきのこえがー むなしくきえていく  
いまあらたなてきがー にほんをねらってる  
ばいこくどのゆめをー はかなくうちくだき  
やまとのたましいがー ふたたびわきいでる



おれていくこのころを やさしくささえるみはた  
こくなんにたちむかーう きみらにみらいをたくし  
ざいにちにけがさーれた このくにのせいじをただせ  
ゼットきをひるがえーし たたかうせいぎのせんし



そらにはためくきょくじつき あまてらすのしるし  
われらはくだんのやすくにでそこくをまもーる  
みあげたひとみにかがやくはにしきのみはーた  
ゆうきをこぶするひのまるにこころでちかーう



たたかいつづけよおー やがてかわるだる  
こうこくまもるため  
こころひとつにしめ  
にほんをまもるため



たたかいつづけよおー みらいをしんーじて  
ちからつきるまで  
ねがいがかなうまで



いのーちつきるまで いのーちつきるーまで